外国語学部 国際英語学科

Ge**V**



適切なコミュニケーションを 取るために大切なことって?



話すことだけがコミュニケーションでは ありません。「聴く」ことも重要なポイントです。

日本語を話す外国人より 英語を話す日本人のほうがすごい?

近年、日本のコンビニなどで働く外国人の方をよく見かけるようになりましたが、外国の方が日本で働くということは、言語能力を考えればすごいことです。しかし、それらの人々の日本語能力について、社会的に高い能力であると取り上げられることはあまりありません。一方で、日本人が英語を少し話せる=すごいという考えは多くの人が持っています。このイメージの違いは、コンビニで働く外国人が「日本語という外国語で仕事をするすごい人」という視点が抜け落ちてしまっているから。これでは日常の中の異文化への視点が狭くなってしまいます。異文化コミュニケーションの場において、このような思い込みは多々あるため、こうした思い込みから解放されるためにも、フラットな目線で、偏見を持たずに相手の話を「聴く」ということが大切になります。

相手の話をしっかり「聴く」ことが良質なコミュニケーションのコツ。

コミュニケーションとは「他者との関係性」の上に成り立っており、自分が話す・伝えるということだけではありません。また、「男性・女性だからこうだ」というように、相手の考え方などを決めつけていると適切なコミュニケーションは成立しません。だからこそ、まずは相手の話をしっかり聴いて、相手を知ることが重要なのです。これは、英語でのコミュニケーションにおいても同様です。流暢に英語を話せることよりも、ちゃんと意味のあるひとことを言えるほうが大切であるということを忘れてはいけません。まさに自分と相手との関係性を客観的に見て「聴く」ような姿勢です。このようなことを教育活動を通じて伝えることで、より柔軟なコミュニケーションの捉え方が広まればいいなと思っています。





宮崎 新 先生

Miyazaki Arat

大学時代に携帯電話が普及し、私たちのコミュニケーションのあり方が大きく変化しました。自分の将来を考えたときに、大学で学んだコミュニケーション学を学生に教えられるようになりたいと思い、アメリカに留学。研究職の道に進みました。





シャッターを切ることで リフレッシュ。

アメリカに留学していたときに、 叔父からカメラを譲り受けたこと がきっかけでより写真の世界に のめりこみました。シャッターの 切り方が自分のモノの見方に気 付かせてくれることに繋がって、 ナきか気分転換になっています。